

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 4

NO 4

2016・1・30

1 EU－各国が輸出戦略を討議

ドイツ連邦食料・農業省の対外貿易問題経済委員会の第230回会議に際して、連邦農業省政務次官ペーター ブレーザー (Peter Bleser) とフランス大使館の専門代表者 Arnaud Brizag、オランダ大使館の Tom van Arnhem そして EU の輸出戦略に係る経済委員会代表者と議論した。ブレーザー政務次官は、農業と食料の輸出の重要性について指摘した。

”我々は外国見本市と販売奨励政策でもって、目的とする小一中規模企業を支援する。ドイツの繁栄は、基本的に農村地域において就業の場を確保している、これら革新的で柔軟な企業のもとに、築かれている。我々のさらなる繁栄は、開かれた国境でもってのみ創り出される。ドイツ、EU においても、そして第三国においても。”ドイツは、農産物を 680 億ユーロ (約 8 兆 8,400 億円) の輸出よりも多い、760 億ユーロ (約 9 兆 8,800 億円) を輸入している。

そのため、ドイツにおいて (他の EU 一諸国でも同じように) 小一中規模企業が公的に支援されている。その際、重要なのは貿易障害である。特に輸出に関心をもつ企業への動物一作物の健康分野並びに専門的、資金的な支援である。

この会議は、政府の参画無しの市場開放の可能性が、殆ど無いことを示している。しかし、重要なことは EU 一委員会とともに、EU 一全体の政府共同活動もまた、重要である。そのことによって、不当な貿易バリア (障壁) が撤去される。

2 学校と保育所でのより良い食事のための質向上運動をスタート

食事の質向上運動「進めようー学校と保育所の良い給食のために」のスタートに際して、連邦大臣シュミットが説明した：“我々の子供たちは、自らの成長と学びの成果のために、健全な栄養を必要とする。その際、昼食を提供する学校と保育所が求められる。保育所で昼食を世話される子供たちの数は、この10年間でほぼ倍化した。学校と保育所での昼食は、美味しく栄養的にバランスのとれ、そして栄養価が高くなければならない。

その際、全ての子供たちが同じく高い水準で、栄養摂取できることが、私にとって重要である。なぜならば、現在全保育所の半分近くが、ドイツ栄養協会（DGE）の品質規準を認識している。だがしかし、学校と保育所における良い食事は運次第でなく、当然のことでなければならぬ。学校と保育所における健全な栄養のために、最も大きな質向上運動でもって DGE の水準を、学校と保育所に広範に定着させるための、きっかけを与えたい。その際、私は両親も一緒に行動し、そしてこの問題に敏感にさせたい”と、連邦大臣シュミットは述べた。

私のアピール：「進めようー学校と保育所におけるより良い食事のために」の運動で、我々も両親も子供たちと一緒に、学校・保育所の食堂で食事を手にすることに、取り組まねばならない。そのため、私の運動は学校と保育所における食事について、より高い品質を配慮するために、両親に具体的な行動の薦めを提起したい。さらに私は、授業の中に栄養の初歩的知識を定着させる。なぜならば、理論の中で栄養教育、そして実践の中での良い食事は、対をなしている。

3 子供と青少年に対する電子タバコと電子水タバコの販売禁止

ーこれは健康上の消費者保護の里程標ー

子供と青少年を電子タバコと電子水タバコの消費の危険から守るための法律が、今日（1月28日）連邦議会で審議されている。さらに健康上の消費者保護で、責任を有する連邦大臣シュミットが述べた。”タバコを吸う危険から子供と青少年を保護することが、私にとってなによりも重要である。そのため、私は電子タバコと電子水タバコの販売禁止を、私の同僚マヌエラ シュヴェスイヒ（Manuela Schwesig）とともに提案した。”

同時に我々は、明確に見解を述べる：電子タバコと電子水タバコは、ニコチンの有無にかかわらず、子供と青少年の手に渡してはならない。これを吸うことは、チューインガムの味がするか、メロンの香りがする場合であっても、無害ではない。これらのタバコの販売禁止は、健康上の消費者保護の里程標である。

4 連邦コンクール：「2016 バイオエネルギーの町村」がスタート

連邦食料・農業省は、「バイオエネルギーの町村」を表彰している。さらに国際緑の週間での「農村での喜び」コミュニケーションの分野で、政務次官ブレーザーが 2016 年度のコンクールを、今日ベルリンでスタートさせた。”私は今日、「バイオエネルギーの町村」の連邦コンクール第 4 回目のスタート号砲に際して、初めて大きな町にも与えることを、非常に喜んでいる。”と、ペーターブレーザー（Peter Bleser）が、ベルリンでの国際緑の週間での挨拶に関連して強調した。

”同時に我々は、今年参加範囲を拡大した。ドイツにおける町村で自らの電気暖房需要の最低 50%を、地域から生産されるバイオマスでカバーすること、または町村の中心部に、最低 30%のバイオエネルギーを供給できる町村が、このコンクールに参加できる。”表彰されるのは、モデル的にバイオエネルギーの潜在力を活用している、3つの特別に革新的な町村である。”

以下の規準に基づいて中立の審査委員会が、3町村を選出する。

- ◇ バイオエネルギーの供給割合
- ◇ さらに再生可能なエネルギーシステムにおいて、バイオマスの賢明な利用
- ◇ 効率性、持続性と革新
- ◇ 地域の価値創造と住民の参画

”「2016 バイオエネルギーの町村」は、農村地域発展のためのモデル効果とともに、バイオマスの地域的な分散も、利用を拡大する”と、ブレーザーが述べた。その際、エネルギー転換のためのバイオエネルギーの重要性もまた、総合的に指し示す。信頼できその上柔軟なバイオエネルギーは、我々の将来的なエネルギーの組み合わせのために、絶対的に不可欠である。

地域的に分散した事例は、エネルギー供給確保のためのエネルギー源としての、成果多いバイオマスが貢献できることを、示している。そのため、バイオエネルギーは、再生可能なエネルギー奨励のための改正法によって、展望を与えられねばならない。表彰される3つの町村は、それぞれ10,000ユーロ（約130万円）を受け取る。この賞金は、地域のバイオエネルギー構想のさらなる発展のために、投入されるべきである。応募の締め切りは、2016年5月15日である。

2016年2月1日 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
